

海外
論文 &
レポート

「青年の絆は国を超え、協同組合 の分野を超えて」

～ ICA アジア太平洋地域青年代表者会議での
各国青年の報告から～

岡安喜三郎（協同総研専務）

標記ICAアジア太平洋地域青年代表者会議は、ICA 同地域事務局の招集により、2002年7月17日、18日の2日間にわたってベトナム・ハノイ市バオソンホテルで開催されました。開会はベトナム協同組合連盟のグエン・ティ会長の歓迎あいさつと、ICAアジア太平洋地域の李實官（リ・シルカン）事務局長の開会あいさつで始まり、昨年6月のICAアジア太平洋地域青年セミナー（通称東京セミナー）以降の各国での取り組みを交流しながら、今後のアジア太平洋地域における協同組合青年活動について話し合いました。

各国協同組合の青年を代表して、ベトナムからベトナム協同組合連盟（VCA）のホアン・ニャ・チュン君、フィリピンからNATCCO（全国協同組合連合会）のクラリーサ・S・トランベ女史、中華人民共和国から中華全国供銷合作社の呂俊山君、タイからタイ協同組合リーグ（CLT）のシャン・ルールン君、日本から大学生協連の諏訪哲夫君ら5人の青年が参加しました。インドネシアからはインドネシア協同組合評議会（DEKOPIN）の青年コミュニケーション委員会代表のアグス・スヘルマン君が出席予定でしたが、急遽来られず、レポートのみの参加になりました。

ここでは、ベトナムとフィリピン、インドネシア、中国の4カ国の協同組合における青年活動についてのレポートを紹介します。この4カ国は協同組合セクターの枠を超えて何らかの青年組織を作ってきました。

ベトナムでは、ベトナム協同組合連盟青年団が組織されています。協同組合には青年の占める割合

が大きいにも関わらず、実状は農村出身者が多く、技術教育も受けていない者が多いこと、また、待遇の面から大卒者が殆ど入ってこない実状が報告され、青年の持つ潜在能力の顕在化のために青年団の活動を強化することと同時に、政府への建議も報告されました。

フィリピンからはここ十年の様々な動きが合流して、全ての協同組合の青年にオープンな新しい青年ネットワークを結成したことが報告されました。NATCCOの青年の経営参加（理事枠など）の諸取り組みの紹介、また（青年参加に躊躇する）大人の幹部への熱いメッセージが語られました。

インドネシアは、協同組合青年組織について最も長い伝統をもっています。協同組合全国評議会の下に設置された青年委員会として、幹部育成の観点からの青年組織の重要な位置づけを報告しています。

中国では、昨年のICA東京セミナー以降、指導者からの強力な支援を受けて、青年に対する働きかけを開始した報告がされました。

報告は総じて、「協同組合全セクターが合流する青年活動は青年だけでは不十分で、世代交代、幹部育成などの価値を認知した大人の幹部の支援が必要である」ことが語られました。

なお筆者はプレゼンテーション「Cooperation among youth for the Community」を受け持って青年会議に参加し、「労働者協同組合で働く青年の経営観、仕事観、地域観」について、センター事業団が行ったアンケート調査の結果を使って発表しました。内容は「協同組合経営研究2002No.587、8月号」（協同組合経営研究所）の拙稿と同趣旨です。

ベトナム

ベトナム協同組合連盟

Hoang Nghia Trung



・ベトナム協同組合連盟の簡単な紹介

ベトナム協同組合連盟（VCA）は国の社会経済組織で、すべての種類と形態の協同組合を代表しています。協同組合はベトナム全域で、およそ全ての領域、業種で活動しています。ベトナム協同組合連盟（VCA）は1991年12月18日に設立され、国の中央から61の省や市までの広範囲なネットワークを持った組織になってきました。

国際の場合においてVCAは2つの国際組織、すなわち国際協同組合同盟（ICA）および世界中小企業協会（WASME）の正式会員です。また国際労働機関（ILO）に対し使用者側代表の政府指定を得ています。ベトナム協同組合連盟はアジア太平洋地域や世界各国の協同組合連合会との関係を持っています。また、300以上の国際協同組合組織、政府組織、国内外の非政府国際との間で協同と情報交換の関係を創り上げています。

・ベトナムにおける協同組合の地位

ここ数年間、ベトナムの協同組合は、様々な業種、領域において、特に農村部において、形態、規模、レベルの点で目を見張る発展を遂げてきました。

現在、全体で15,114もの協同組合があらゆる経済の業種、領域で事業活動しています。その内、10,289組合が農林漁業、36組

合が塩業、528組合が水産、1,566組合が工業・小手工業、341組合が建設、951組合が交通運輸、373組合が商売、994組合が信用です。2000年には、協同組合は4.6%の成長率を遂げ、GDPの8.5%の割合を占め、1,260万人の会員を結集し、70万人の労働者を雇用し、国の労働力人口の33.1%を構成しています。

これらの経済的発展の業績とともに、協同組合は、地方の社会基盤整備、公共福祉において本質的な貢献をしてきました。たとえば、交通路、電気システム、灌漑掘割、溝渠、水利、学校、診療所、託児所など、すなわち、社会問題の解決やコミュニティの建設・発展に貢献しています。

・協同組合振興における青年の役割

ベトナムにおいて「青年」とは15歳から30歳の人たちとして定義されています。統計総局の数値によれば、2001年末、ベトナムは人口7,870万人、その内青年は24.9%を占めています。これはまことに活発なグループで、国の経済的社会的発展過程において、重要な役割を果たしています。高齢層と比較して、青年層はよりよい学校教育を受けています。青年たちは、若さ溢れる熱意をもって仕事に励んでいます。それは溢れんばかりの望みと夢もった創造性と決意をもってであり、事業の先端を歩もうとする団結精神と学習意欲をもってです。青年は新技術を速やかに習得する能力を持ち、試練や困難に立ち向かう意思

があり、周囲の環境の変動に容易に適応します。グローバル化、民営化、今までになく激しくなる競争圧力は、協同組合を時代遅れの瀬戸際に追いやろうとしています。協同組合は、生産技術革新、経営哲学の刷新、商品・サービスの刷新などの努力をし続けなければなりません。改革する勢いをもって行動する青年こそが、21世紀に光り輝く協同組合を発展させ経営する人的資源なのです。

・各協同組合における青年の情況

協同組合は社会志向の経済組織で、その組合員とコミュニティを発展させる機能があります。しかしながら、協同組合はその経済的地位に関しては、多くの困難に現在直面しています。小規模生産、時代遅れの技術、貧弱なマネジメント技能、妥当でない待遇制度（協同組合の平均賃金は一ヶ月300,000ドン - 400,000ドン、1円 = 110ドン）等が挙げられます。従って協同組合は教育を受けた若い人たちにとって魅力のないものになっています。ほとんどの学生は卒業後に協同組合で働くとは思っていません。その代わりに、彼らは外国との合弁企業、国家組織、私企業で働く機会を探しています。協同組合で働く青年は35%を占めていると言っても、そのほとんどが農村青年であり、安価な手工労働者です。大学卒業者は無視できるほどです。協同組合の青年の20%しか中等教育を終了していません。すなわちそれしか専門技術の訓練を受けていないこととなります。この様な情

況から、青年の役割は本来の重要性に結びつかず、その潜在能力は効果的に生かされてきませんでした。

・協同組合運動発展における青年の活動

1 .ベトナム協同組合連盟(VCA)青年団の活動

VCA青年団は1996年に創立され、青年の代表組織として、専門的知識や理解を向上させ、精神活動・身体活動を発展させるために、青年を連結させ、援助する組織としての機能を持つとともに、青年が専門的任務をより良く達成でき、組織体である協同組合を発展させる事業にきちんと貢献できるように援助するものです。加えて、青年団はVCA指導委員会に対し青年関連諸活動の助言機能を持ち、青年全体に関わるVCAの活動計画の実施を団メンバーに指導し、社会の諸活動、地方のボランティア運動に参加しています。

今年、VCA青年団が実現した活動には以下のようなものがあります。

協同組合の改革、強化、発展に関するベトナム共産党中央委員会決議学習会の開催。参加したすべての青年は、決議に関する研究、討論、質問の機会が持てました。

青年の経験交流、情報交換のための特別のセミナーや会議の開催。

国内および国際協同組合運動を主題した研究論文コンテストの開催。

青年の出会いを拡げ、連帯感を高めるためのスポーツ大会、文化活動、スタ

ディツァーの開催。

1 大学生協の設立、青年の協同組合の一モデル

1998年初頭、国民経済大学生協が、484人の組合員(主に学生)の参加で創立されました。2億2600万ドンの初期資金(内2600万ドンが出資金、残りが大学からの借入金)で、協同組合は学生のための消費財・文房具、食品・飲料、コピー、娯楽、借家関連事業を行いました。4年の活動を経て、協同組合は目を見張る成功を遂げ、学生からの評判も良く、参加する組合員もどんどん増えてきました。現在、協同組合は全体で971名(3分の2は学生)、出資金は1億6100万ドン、28人の職員、6つの店舗、そして学生向けの社会悪(HIV感染など)追放のカウンセリングセンターを擁しています。

国民経済大学生協の成功で、このモデルは他の地域に拡大してきました。2001年、フオンドン私立大学(フオンドンは東方の意)生協が105人の組合員、37億6千万ドンの出資金で創立されました。タイグエン省のいくつかの学校とタイグエン師範大学でも生協の創立が計画されています。

・いくつかの提案、建議

* 政府に対する提案です。

コミュニティや社会に対する協同組合の価値、役割を青年に知らせ広めるための教宣戦略、計画の存在。すなわち、高校や大学の一科目として協同組合学

習を取り入れること、青年に協同組合で働くことや協同組合開発の運動に参加することを奨励する政策があること。

青年に対し、彼らの能力や知識を促進させる最良の機会の創設。すなわち、青年が声や意見を出すためのフォーラムの創設、新しいアイデア開発の奨励、指導的位置に慣れるためにマネジメント活動への参加資格付与。

青年が協同組合を創立しコントロールすることの奨励。

青年開発の長期的な戦略と計画の策定。

* ICA に対する提案です。

本地域の青年諸活動をコーディネートに責任を持つ青年委員会の早期形成。青年発展基金の創設。青年の諸活動の支え合い、特に研修活動、科学的研究。ネットワーク、ウェブサイト、青年フォーラムの形成。

青年が、各種委員会、地域や世界のセミナー、国際会議や国際フォーラムの場に参加できる条件づくり。

以上です。

フィリピン

協同組合全国青年ネットワーク (NYCN) 副議長
NATCCO (全国協同組合連合会) 職員
クラリーサ・S・トランペ

皆さん、おはようございます

東京で行われた青年セミナーから1年以上経ちました。この期に私は、東京セミナー後のフィリピン協同組合セクターにおける青年の活動について詳しくお話ししたいと思います。

この間のフィリピンにおける連続した活動は、若い人たちのテクニカル・ワーキング・グループ (TWG) を協同組合セクターに中に作りあげようとするものでした。これは東京セミナーで発表した総合行動計画 (IPA) の実現のためのものです。

最初の地方開催協同組合青年会議は2001年9月にイロイロ市ウェスト・ピサヤ大学で開催されました。この会議では、青年委員会の創設と、ウェスト・ピサヤ協同組合連合会に青年基金の設置が確認されました。

10月には青年向けメトロマニラ協同組合会議がNCRUC(中央地区協同組合ユニオン)とフィリピン・ポリテクニク大学協同組合研究所の呼びかけで開催されました。

11月には(10月の誤り) TWGのメンバーがICA ソウル大会時のグローバル青年セミナーに参加しました。

その後、TWGの会議は、全国的な青年協同組合ネットワークを想定した形で開かれるようになりました。

最初の多分野協同組合全国青年会議がMMAFECCO(メトロマニラ生協連)やCEDC(協

同組合教育開発センター)他の呼びかけで、日本の大学生協連、ICAアジア太平洋地域事務局の参加を得て開催されましたが、この会議期間中に、ネットワークの仕組みが報告され、参加した青年はこのネットワークを支持する固い約束をしました。

一方で、VICTO(NATCCOのピサヤ地方の開発センター)系列下のYouthNet(協同組合青年ネットワーク)が総会を開きました。総会では、単位協同組合において理事会メンバーに青年の代表を就任させるとの決議の実現が強調されました。

これらの様々な組織、すなわち単位協同組合、連合会、中央会、研究所が開始した活動、すなわち青年を協同組合の本流に積極的に巻き込む進取の気風は無駄にはなりませんでした。

2002年5月6日-8日、ルソン、ピサヤ、ミンダナオの様々な協同組合を代表する青年リーダーが集まりました。青年リーダーは、「協同組合全国青年ネットワーク(NYCN)」の編成で一つにまとまりました。

「協同組合全国青年ネットワーク(NYCN)」は協同組合における青年のボーダレス・ネットワークです。知っての通り、フィリピンには実にたくさんの協同組合連合会、中央会というネットワークが存在しています。何らかの理由により、大人にとってこれらの団体を統一するには多くの時間を費やすこととなります。「協同組合全国青年ネットワーク(NYCN)」の創設は、大人のリーダーが統一を為しえないとしても、若い人々はその可能性

を示すことができるという、一定の論証・示威であります。

「協同組合全国青年ネットワーク (NYCN)」は当面、15人の理事、2人の事務局を配置しました。この組織は開かれた会員制で、協同組合の青年なら市民権に関わりなく、15歳から35歳までの誰でも加入することができます。何故35歳なのか？ 会員どうしの徹底した論議を経て、フィリピンにおいて協同組合における青年の参加の重要性を認知したのは正に最近のことであるとの認識から、私たちは15 - 35に到達しました。なぜなら、若い人たちを援助する優しい心を持ち積極的に関与しようとする若い成人がいますし、彼らのプレゼンス（影響力の存在）は必要です。35歳を超えた人たちはアドバイザーとして歓迎しますし、15歳未満は準会員と見なされます。

「協同組合全国青年ネットワーク (NYCN)」の理事会は、常に会うにはコストの問題がありますので、活発なeグループと使ってコミュニケーションします。もっとも、会ってネットワークの当面の課題に基づいて行動するために、7人の幹部委員会を設置しました。

現在の活動

NYCNはウェブページを立ち上げます。もっと詳しく私たちのことを知ることができますので、訪問しませんか。アドレスは小冊子に載っています。

URL: <http://www.geocities.com/>

nycnphilippines/nycn.html

委員会は現在、法人格を取得するために、NYCNの登録申請中です。

まだ登録はされていませんが、NYCNは協同組合の分野で着実に認知を得つつあります。先月（2002年6月）私たちは、今年11月28日 - 30日ミンダナオのカガヤン・デ・オロ市で開かれる第6回全国コープ・サミットにおける青年活動の主催者の任を得ることができました。青年会議、教育フォーラム、諸コンクールはNYCNによって催されるでしょう。

長期計画として、NYCNはフィリピン農山村の旅を奨励すべく、観光省、協同組合開発機関とパートナーシップをとることを考えています。最初の会議で既にこれらの政府機関と連絡をとっています。理想は旅行分野にNYCN会員を選び、その人たちが訓練を受け、旅行活動のガイド、企画組織者として役に立つことです。

当面する諸問題

NYCN 会員が協同組合の仕事において青年の積極的参加を唱え続ける時、私たちはある一定の困難に出会っています。

- 1 .構造的な障害 フィリピンにおいて協同組合の現在の仕組みでは、青年のニーズを訴える場が提供されない。同時に利用する力もない。
- 2 .協同組合のリーダーシップやマネジメントへの青年の参入に対する大人のリーダーの抵抗 青年を巻き込むことに関

してオープンな考えの大人のリーダーがいる一方で、若い人たちの参入に抵抗する大人のリーダー達もいる。私たちに脅威を感じているのかどうかは分かりませんが、しばしばこういう声を聞きます。我々は長い年月をかけ、我々の血と汗と涙で協同組合を成功させてきた。彼らが我々に対しその能力を証明しない限り、若い者らに我々の協同組合の指導や管理を任せるわけにはいかない。

3. 基金 若い人たちが活動を支えるお金をどこで手に入れるかです。

これらの諸問題に関して活動を開始したのは、まだほんの少しの協同組合でしかありません。NYCNは現在、活発な会員の一つであるNATCCOネットワークが使っている手法を研究中です。

NATCCOネットワークは2000年の総会において、すべての傘下協同組合に政策決定機関に少なくとも1人の枠を青年代表に配分する勧告を決議しました。私たちは、青年が活動を計画するにはまだ十分ではないと信じています。計画を実施するには、協同組合陣営において若き計画者が発言・投票権を持つべきです。現在、青年の理事を置いている単協がいくつかあります。また、VICTOは青年代表を理事会に選出しました。

NATCCOはまた、その協同組合教育訓練基金の5%を青年基金に配分することを決議しました。

NATCCOの会員協同組合はこれらの決定履行を開始し、全体としての実施を継続的に押し

進めています。

これらのことはさておき最後に、活発な提唱作業には大人と若者のリーダーの間のギャップを埋める必要があります。協同組合における世代間理解、私たちの協同組合を継続し強化するためにはお互いが必要であるという理解があるべきです。私たちは明日のリーダーと思われていますが、実は今日のリーダーでもあるのです。私たちは必要なことを学ぶ必要があり、そうした時持続できるような大人たちは今すぐ私たちに機会を提供すべきです。そうすればリーダーシップとマネジメントにおいてギャップはなくなっていくでしょう。大人のリーダーの皆さんに。あなた方が明日を用意していようと、私たちはいつまでも青年ではないということをご分かってください。その時には私たちは既にあなた方のように大人になっています。

< 資料 >

協同組合全国青年ネットワーク (NYCN) の

ビジョン

全体的な発展に適應する経済的、社会文化的、エコロジー的転換に関心を合わせ、生き方としての協同組合主義を制度化する際に、触媒となりうる協同組合フィリピン青年ネットワーク

ミッション

協同組合のフィリピン青年ネットワークは

- ・文化間、世代間の理解と統一に向けた価値を提供する
- ・維持可能性に向けて、経済生活力、社会公正の促進する
- ・卓越性と国際競争力を付けるために、人的資源を開発する
- ・環境の保護、保全において指導性を持つ

目標

- ・青年分野での平等、連帯、統一を促進する
- ・コミュニティ関連活動において青年を巻き込む
- ・青年の事業を開発し、雇用を提供する
- ・事業機会と仕事紹介を創造する
- ・会員の専門的技術的能力を高める
- ・他の青年グループと連結した情報技術の利用
- ・環境保全、保護に関する自覚を高める

インドネシア

インドネシア協同組合評議会 (DEKOPIN)
協同組合全国青年コーディネータ組織
議長 アグス・スヘルマン

平和はアジア太平洋地域協同組合の青年活動
の上に！

1. デコピン (DEKOPIN) とは

DEKOPINとは、DEwan KOPerasi INdonasia (インドネシア協同組合評議会)の略で、インドネシアにおける協同組合の誕生と同時に生まれました。1947年7月12日の第1回協同組合大会の時、つい先ほどの2002年7月12日、第55周年記念を祝ったばかりです。

- a. デコピンのビジョン： 進歩的で公正かつ豊かな社会の実現に真に貢献できるよう、国の経済における協同組合の機能と役割を強固にすること。
- b. デコピンの使命： 国の経済の力としての社会経済を強化する協同組合の共通利益を具体化するにあたって、先行性足りうる様な方法で力を持つ協同組合運動の単一組織の位置を強固にすること。
- c. デコピンの性格： 今までの取り組みと通じてデコピンは以下の3つの主要な典型的性格を構築した。

先行性

創造性と革新性

躍動性

デコピンはインドネシア協同組合運動における全国レベルの単一組織で、47の全国レベル第2次連合会から成り立っています。地域レベルには地域レベルの第2次組織から成る

地域デコピン (DEKOPINWIL) があり、これらは30の州に広がっています。そして、300の地域に地域レベルの単位協同組合から成る地域デコピン (DEKOPINDA) があります。

これらに加えて、デコピンはまた、特別の分野に注目した特別の委員会を持っています。

協同組合教育センター (LAPENKOP)
協同組合事業ネットワーク (JUK)
協同組合法律サービス相談 (BPKH)
協同組合女性コミュニケーション委員会 (BKWK)
協同組合青年コミュニケーション委員会 (BKPK DEKOPIN)
(英文名: 協同組合全国青年コーディネータ組織)

2. 協同組合全国青年コーディネータ組織 (BKPK DEKOPIN) とは？

協同組合全国青年コーディネータ組織 (BKPK DEKOPIN) は Ir H・M・イクバル氏の発案により、デコピンによって1985年7月6日に設立されました。設立理念は戦略的グループ、すなわちインドネシア協同組合青年の幹部形成を実現するためにデコピンを支援するものでした。1985年以降のBKPKの議長は以下の通りです。

Mr. Ir. H. M. Iqbal 1985-1990

Mr. Iyan Kastian 1991-1999

Mr. Agus Suherman 2000- 現在

目的: 協同組合全国青年コーディネータ組織はデコピンによって作られた委員会であり、その目的はデコピンの目的に従っています。

機能: 協同組合全国青年コーディネータ組織はインドネシア協同組合運動の青年戦略グループ向けの幹部形成組織としての機能を発揮します。

役割: 協同組合全国青年コーディネータ組織は、人的資源開発機能と協同組合の新リーダーの資源として機能を発揮します。

機構: 協同組合全国青年コーディネータ組織は全国レベルに位置し、単一のインドネシア協同組合青年組織です。これは30の地方青年コーディネータ組織、300の地域に地域青年コーディネータ組織で構成されています。

インドネシア協同組合運動の青年: インドネシアで「青年」とは15歳から35歳の人と定義されます。協同組合の青年はインドネシア全域に様々に広がっています。デコピンの一つの会員として青年を会員とするコピンド(KOPINDO、インドネシア青年協同組合)があります。コピンドの会員は大学の学生協同組合(KOPMA)イスラム学校協同組合(KOPONTREN)、青年協同組合(KOPEDA)高等学校協同組合(KOPSIS)から成っています。これらの協同組合は全体として協同組合全国青年コーディネータ組織の責任下にあります。

3 協同組合全国青年コーディネータ組織の2001年の活動

協同組合研修の講師として

- A)2001年3月4-5日、バンドンのパジャジャラン大学学生協同組合の協同組合基礎研修
- B)2001年3月11-12日、西ジャワの大学協同組合マネジメント研修
- C)2001年5月6日、学生協同組合の全国リーダーズ会議
- D)2001年5月パスタン大学学生協同組合の理事会運営の向上

共同活動

- A)2001年6月4日、ジャカルタの学生協同組合のマネジメント研修
- B)2001年9月1-2日、国立工業大学の起業家セミナー

ICA-ROAPの活動に参加。2001年6月、東京で開かれたICA地域協同組合青年セミナーに協同組合全国青年コーディネータ組織から数人派遣

2001年7月23-28日に、「地方青年コーディネータ組織の理事会運営に関するマネジメント研修」と題して、理事会運営の能力向上を図った。

4 協同組合全国青年コーディネータ組織の2002年の活動

協同組合全国青年コーディネータ組織は以下の活動計画を持っています。

A)活動名称

「インドネシア協同組合青年向けマネジメントおよびリーダーシップ・コース」

B)目的

青年の人的資源の質を向上させ、インドネシア協同組合運動の幹部を準備する

インドネシア協同組合運動の躍動性を高める

C)日程と会場

第1回： 2002年7月、バンドン市（西ジャワ）

第2回： 2002年7月、ジョグジャカルタ市（中部ジャワ）

第3回： 2002年8月、スラバヤ市（東ジャワ）

第4回： 2002年8月、U.パンダン市（スラウェシ）

第5回： 2002年9月、バリクパパン市、（カリマンタン）

第6回： 2002年9月、ポンティアナク市（カリマンタン）

第7回： 2002年10月、ランブン市（スマトラ）

第8回： 2002年10月、ジャンビ市（スマトラ）

以上です。

中華人民共和国

中華全国供銷合作總社
審計局 呂 俊山

参加者の皆さん、青年代表の皆さん、おはようございます

私は呂俊山といひます。この会議に参加できて大変光栄に感じています。私は中国供銷合作社、および青年運動の状況についてこの会議に報告したいと思ひます。

第1章 中国の供銷合作社(供給販売協同組合)

中国の供銷合作社は、農民を主体とする協同の経済組織で、中華全国供銷合作總社、31の省合作社連合会、337の市合作社連合会、2,365の県合作社連合会、26,000の単位組合で構成され、1億8千万農家の会員、430万人の労働者、50万の事業所(販売所)を擁しています。合作社全体の事業高は2001年には4,053億元です。(2000年には4,409億元)

中華全国供銷合作總社は全国の供銷合作社の連合組織で、その主要な職能と任務は、

- a) 全国の供銷合作社の發展戦略と改革計画の策定する責任を負い、全国の供銷合作社の發展と改革を指導すること、
- b) 政府承認下の重要な農産資料、農業副産品を向上させる手段・方法を組織し、調整し、管理すること、
- c) あらゆるレベルの供銷合作社の合法的な権利と利益を保護すること、
- d) 合作社と他の関連当局と連携を調整すること、
- e) 全国の供銷合作社の事業活動を指導すること、および都市部と地方との間の物資の交

流を促進すること、

- f) 党中央や国务院の農業経済に関する基本方針と政策を宣伝し貫徹すること、
 - g) 中国の合作社(協同組合)を代表してICA(国際協同組合同盟)の各種活動に参加すること、
- です。

合作總社は16の直屬企業、8つの研究所、7つのセンター・施設、13の全国レベルの專業協會を持っています。2000年にはそれらの企業で233億6千万円の売り上げを実現し、その内の6億1,400万米ドルは輸出入関連です。(2001年の直屬企業の売り上げは168億元)

全国の供銷合作社は、農民の市場参入を組織し、農業の産業化経営を促進し、農業、農村と農民へサービスを提供し、政府と農民との密接な連携のための橋梁と紐帯となって、中国の協同経済發展等に重要な役割を果たしてきました。

第2章 中国協同組合の青年組員

昨年の東京セミナー(ICAアジア太平洋地域青年セミナー2001)以降、中国の協同組合は様々な青年に対する働きかけを開始しました。主に3つの部分です。

第1は、中華全国供銷合作總社における青年組織の強化です。青年組織の名称は「共產青年グループ」です。

第2は、たくさんの青年活動をスタートさせました。例えば、植林、様々な革命地訪問ならびに国旗護衛隊訪問、英語やコンピュー

タのトレーニング・クラスの開催、ボーリング大会主催などです。

第3に、生協を見にいいくつかの大学を訪問しました。

上記の成功は指導者たちの強力な支援によって為しえたもので、私たちは私たち自身の活動に、より熱心にエネルギーに専念するつもりです。そういうわけで中国の協同組合2002/2003年度の青年活動は以下の5点です。

- 1 . 英語のトレーニング・クラスの継続
- 2 . 青年の能力を高めるトレーニングの開催
- 3 . 楽しい呼びものの開催
- 4 . いくつかの文化芸術の夕べの主催
- 5 . 青年に対し協同組合の経営参加のための効果的な手段の探求

第3章 アジア太平洋地域の協同組合青年活動への提案

アジア太平洋地域の協同組合青年活動に関して、私は簡単な提案をします。それは、青年会議の決定がどのようにすれば効果的になるのかについてより一層の注意を払うべきだということです。私は相対的にキチンとした組織とルールが正しい答えの一つだと思います。私は言葉よりも行動の方がより崇高なものだと信じます。

最後に、他の国と比較して中国の協同組合はまだまだかなり不十分です。したがって、私はすばらしい経験と方法を持ち帰ることに大変喜びを感じています。

ありがとうございました。

統計値

0 1	総人口	12億 4810万人
	男性	6億 3629万人
	女性	6億 1181万人
0 2	国土総面積	960万平米
	総耕作地	9497万 ha
	灌漑地	5230万 ha
	荒地	1億 810万 ha
0 3	国民一人当たり収入	260.48米ドル(農村家庭); 657.63米ドル(都市家庭)
0 6	全農協数	40,132組合
0 7	農協総組合員数	1億 8千万家庭
0 8	農協総事業高	1185億米ドル
0 9	主な農業信用機関	中国農業銀行、信用合作社
1 0	主な農産物加工協同組合	中華全国供銷合作総社
1 1	国内主要作物	米、小麦、麦、綿、たばこ、茶
1 2	穀物総生産	5億 1230万トン
	小麦	1億 973万トン
	米	1億 9871万トン
	農産物輸出入	
	輸入;	小麦、米、砂糖、綿、植物性油
	輸出;	豚、家禽、米、茶、生絹